

## 【各国議会】 日本関係情報

### 【アメリカ】 米国人元戦争捕虜第二次訪日団

2011年10月13日、マイケル・ホンダ(Michael M. Honda)下院議員(カリフォルニア州、民主党)は下院本会議で、米国人元捕虜が、日本政府の招待により同年10月15日から23日まで、昨年9月の1回目が続いて訪日する旨述べた。同議員は、歴史的かつ意義のある謝罪を行った日本政府の勇気をたたえるとともに、今こそ第二次大戦中に米国人元戦争捕虜を強制労働させた多くの日本企業が、日本政府の例に続いて謝罪を行い、記憶の維持と和解のためのプログラムに支援を行うべき時であると主張した。

<<http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2011-10-13/pdf/CREC-2011-10-13-pt1-PgE1853-3.pdf#page=1>>

### 【中国】 三菱重工に対するハッカー攻撃について

2011年9月20日の定例記者会見において、外交部洪磊旭報道官は、日本の三菱重工がハッカー攻撃を受けた事件で、中国からの攻撃の可能性があるという人もいるが、どのように考えるかという質問に対し、次のように答えた。「現在、インターネットセキュリティの問題は日増しに際立ってきており、各国の関心事となっている。中国政府は一貫してハッカー攻撃に反対してきた。中国の関連法律はハッカーの犯罪行為を厳禁しており、中国刑法に基づき、関連行為に対して刑事責任を追及している。中国も国外からのハッカー攻撃を受けている被害国であることを指摘しておきたい。中国国家インターネット応急センターの統計によれば、2011年上半期に中国国内でトロイの木馬やボットに感染したホストコンピュータは456万台に上り、これらのコンピュータは海外の3万近いサーバーからの侵入や支配を受けている。それ故、中国がハッカー攻撃の震源地であるという非難は根拠がないばかりでなく、インターネットセキュリティという分野で国際協力を進める上でマイナスである。中国は各国と積極的に協力を進め、ハッカーを含むインターネット犯罪活動に打撃を与えたいと考えていることを強調しておきたい。」

<<http://www.mfa.gov.cn/chn/gxh/tyb/fyrbt/jzhsl/t860586.htm>>